川瀬巴水と新版画

川瀬巴水「増上寺の雪」昭和28年

伊東深水「髪」昭和27年

川瀬巴水を生んだ大正新版画が生まれて百年になります。江戸の浮世絵が衰退し、大正中期により優れた技法で渡邊庄三郎を中心として浮世絵を再興する運動が起きます。それが新版画の誕生です。

当初は輸出用に作られ、江戸時代の木版画に比べ新版画は摺り度数が圧倒的に多く30～40度摺りをして、木版画とは思えない臨場感あるリアルな作品に仕上げ、外国人に大変喜ばれ多くの美術館やコレクターに収集され、スティーブ・ジョブズ氏もその一人でした。

最後の浮世絵、新版画がもつ魅力は日本文化そのものです。ゆっくりと時間をかけて成熟した日本人の心がそこにはあります。相手の事を考え、思いやり、ものを大切にし、ものづくりが好きで得意なのが日本人であり、日本の文化です。

川瀬巴水（本名：文治郎）は、大正7年35才で風景画の絵師として新版画の中心的作家となり、亡くなる74才まで40年間にわたり、日本中を旅し600点以上の作品を残しました。海外では北斎・広重と並び称され、頭文字から風景画の3H(Hokusai, Hiroshige&Hasui)とも呼ばれています。（新版画には他にも橋口五葉、吉田博、伊東深水など30名位の絵師がいます）

それと、昭和7年には旧鉄道省が世界に向け日本への観光を呼びかけるため、巴水の木版画B全ポスター1万枚を1年かけて作り世界に発信しました。また、戦後数年間巴水の作品(増上寺の雪)と伊東深水の作品(髪)が二点セットで日本を訪れた国賓の方々に日本政府からプレゼントされていました。作品の原画・版下・版木などは全て東京国立博物館に収蔵され、常設展で見ることが出来ます。

巴水を知り日本の伝統文化である木版画を知ることにより、それが環境問題であり、人間関係の大切さであり、日本文化の危機でもあることを知ってほしいのです。百年前の先人の教えを私たちの時代でなくしてはなりません。次の百年にどう繋げるか、今を生きる日本人の大きな責務ではないでしょうか。そのためにも是非一人でも多くの人に知っておいて頂きたい日本人の一人が巴水であり、その作品の背景・裏面・画家の思いなどをも見、知ってもらえれば幸いに存じます。そして又、日本文化の泉ができることを切望しています。

国際新版画協会（I.S.A.）会長　　鈴木　昇

川瀬巴水　昭和14年撮影

川瀬巴水　明治16年(1883)-昭和32年(1957)

明治16年(1883)、東京都芝区(現港区)で生まれる。25歳で父親の家業を継ぐが画家になる夢を諦めきれず、日本画家・鏑木清方の門を叩いたが、20代も半ばを過ぎた遅い始まりに難色を示され洋画家の道を進められた。白馬会葵橋洋画研究所に入り岡田三郎助から洋画を学ぶ。しかし洋画の世界では挫折を経験し、明治43年(1910)27歳の時、一度は入門を断られた清方に再度入門を申し出て許され、「巴水」の画号を与えられる。大正7年(1918)、伊東深水の版画「近江八景」に影響を受けて版画家に転向。同年に塩原三部作を制作、数々の作品を渡辺版画店より発表し始める。以降、生涯にわたり風景版画を数多く刊行。昭和32年(1957)、自宅において胃癌のため死去。

川瀬巴水展関連のイベント日程

「私の手賀沼」展示会　募集期間:5/7(火)～6/8(土)　展示期間:6/16(日)～30(日)

あびこショッピングプラザ3階「ギャラリーヌーベル」で、画用紙・色鉛筆・ポストカードをお渡しします。

募集期間中に持参いただいた絵は、あびこショッピングプラザ1階フードコート前に展示いたします。

あびこショッピングプラザ「キッズ・ラボ」オリジナルクレヨンをつくって、ぬり絵を描こう！　**当日先着順受付**

日時:6/22(土)　①10:15～、②11:30～、③13:00～、④14:15～、⑤15:30～

※計5回、当日先着順受付(各回30人、合計150人)

あびこショッピングプラザLINE@の友だちで、かつ当日のお買上げレシートの提示が必要となります。

会場:あびこショッピングプラザ1階フードコートキッズスペース　お問合せ:あびこショッピングプラザ TEL04-7185-2000

☆3階市民プラザ会場　（川瀬巴水展の入場券でご参加頂けます）

6月22日（土）	午後2時～3時30分	落語「親子酒」「井戸の茶碗」	出演：むかし家今松
6月23日（日）	午後1時～1時40分	ギャラリートーク	講師：渡邊章一郎
〃	午後3時～3時40分	ギャラリートーク	講師：渡邊章一郎
6月25日（火）	午後3時～4時	巴水の生き方、どんな人	講師：鈴木 昇
6月29日（土）	午後3時～4時	大正新版画と巴水	講師：鈴木 昇
6月30日（日）	午後3時～4時	巴水から学ぶこと	講師：鈴木 昇

むかし家今松 Profile

昭和40年、十代目金原亭馬生に弟子入り。昭和45年、二ツ目昇進。昭和56年、真打昇進。第33回 国立演芸場 花形若手演芸会新人賞。千葉県松戸市在住。

講師 渡邊章一郎 Profile

- 渡邊木版美術画舗代表取締役
- 国際浮世絵学会常任理事
- 国際新版画協会(I.S.A.)理事
- 開運！なんでも鑑定団鑑定士

講師 鈴木 昇 Profile

- ギャラリーヌーベル代表取締役
- 国際新版画協会(I.S.A.)会長
- 国際浮世絵学会会員
- 日本民藝協会会員
- 巴水とその時代を知る会顧問

coordinator N.S